

Pearl club

ISE NEWSPAPER LADIES MEETING

vol.18

2018.5

パール通信





工芸菓子に感動

お伊勢さん菓子博2017を観覧

第六回「歴史文化同好会」を開き、会員ら三十五人が伊勢市朝熊町の県営サンアリーナで開催中の「お伊勢さん菓子博」を観覧しました。

和洋菓子職人らが手掛けた巨大工芸菓子「伊勢参宮 宮川の渡し」をはじめ、高校・専門学校生らが挑戦した地元食材などのシンボル展示、全国の菓匠による伝統工芸菓子の繊細さに感嘆の声を上げながら、熱心に見入っていました。

また、歌舞伎役者市川染五郎さんのトークショー、県内の和洋菓子やグルメが集結した茶席やカフェ、フードコートで飲食を楽しみ、全国お菓子夢の市で思い思いの菓子を買い求めていました。

会員の小倉芳子さんは「菓子職人の見事な細工や、職人を目指す学生たちの作品に感動しました」と話していました。

平成29年5月9日



お伊勢さん菓子博 2017
いせわんこ

有意義で楽しい活動に

百五銀行本部棟で総会

津市丸之内の百五銀行丸之内本部棟で平成二十九年度全体総会を開きました。

中川会長は「新会員の方々を歓迎いたします。今後も、会員それぞれの意見を出し合いながら、郷土の活性化とともにパール俱楽部の活動をより有意義で楽しいものにいたしました」と開会のあいさつをしました。同俱楽部に所属する百十七人中、二十七人が出席。昨年度の事業・決算報告と本年度の事業計画・予算案の四議案を承認しました。来賓として出席された小林千三社長は「百五銀行新館のガラス張りからの景色と、所蔵の貴重な品々を楽しみましょう」と話されました。

総会後、参加者らは同本部棟屋上や大講堂を見学し、三階の歴史資料館では、明治三十年設立から百年余り続く百五銀行の歩みを紹介する歴史パネルや、実物の大判小判などに見入っていました。

平成29年6月2日



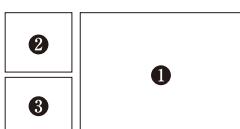
神島の名所旧跡を巡る

シニア・パール合同ツアーアイ

「シニア・パール合同ツアーアイ」を開き、十七人が参加し、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台となつた神島の名所旧跡をたどりました。

参加者らは、鳥羽マリンターミナルから神島に渡り、三島由紀夫が滞在して執筆活動をした部屋をガイドの案内で見学。百十四段の石段の上に建つ八代神社から神島灯台、監的哨跡（かんてきしじょうあと）、カルスト地形を巡る約五キロを歩き、漁師と海女の恋物語「潮騒」の世界に思いをはせました。監的哨跡では、渡りをする希少なチヨウ・アサギマダラに歓声が上がりました。参加した高橋祐二さんは「急な坂道と階段で强行軍でしたが、神島の自然と文化を味わう貴重な体験ができました」と話していました。

平成29年11月10日



- ① 神島灯台前にて
- ② 八代神社社殿石段にて
- ③ 三島由紀夫が滞在した寺田家宅にて



「これからの三重」について拝聴

鈴木知事講演会に出席

創刊百四十周年を記念した講演会と祝賀会を津市大門の津都ホテルと津センターパレスで開き、県内の政財界から約三百人が出席しました。

鈴木英敬知事が「選ばれる三重へ」県政のさらなる飛躍に向けて」と題して講演し、来年度は後継者不足に悩む県内企業の事業継承を支援する考えを強調。「県内で築き上げられた素晴らしい商品や技術を後世に残したい」と語りました。

また、三重とこわか国体が開かれるまでの五年間を「スポーツイヤー」と位置づけて選手の強化に努めていることや、平成最後のインターハイが県内で開かれることも紹介。三重とこわか国体は「全市町で競技がある。オール三重で盛り上げる」とも語り、伊勢新聞について、創刊号が公立桑名病院の開業式に関する記事を掲載したと紹介した上で「まさに県民のニーズ、知りたいことを伝えてきた媒体だと思う。今後はより伝承が大事になってくる。次の世代に大切なことを伝える媒体であつてほしい」と述べられました。

平成30年1月17日



鏡開きや歌声で華やかに

祝賀会に出席

祝賀会では政財界から約三百人が出席し、鏡開きや乾杯で「創刊二百八十周年」に向けた門出を祝いました。鈴木英敬知事や前葉泰幸津市長ら、県内の首長が壇上で鏡開き。この後、三重交通グループホールディングスの岡本直之会長の音頭で乾杯しました。

高祖父が伊勢新聞創業者の松本宗一氏で、松阪市出身の歌手、あべ静江さんがゲスト出演。デビューカー曲の「コーヒーショップで」など二曲を披露されました。あべさんは「戦い続けて伊勢新聞が守られたと親戚から聞きました。そんなハートが今も受け継がれていると思うと、胸が熱くなります」と話されました。

また、津市の名店で平成二十八年十月に惜しまれながら閉店した「東京大寿司」の代表を務めた松田春喜さんも来場。すしを握つて出席者らに振る舞われました。

平成30年1月17日

西郷さんゆかりの地や京料理を堪能

京都研修ツアーアイ

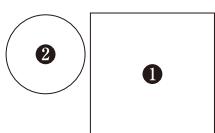
京都研修ツアーアイを開きました。二十人が参加。東山区の東福寺即宗院の見学と伏見区の伏見稻荷大社参拝、老舗料亭「魚三楼伏見」での新年会を兼ねた昼食を楽しみ、親睦を深めました。

明治維新百五十年を記念して特別公開されている薩摩藩ゆかりの東福寺即宗院では、西郷隆盛公が幕府転覆の策を謀つた茶亭があつたとされる場所や、戦没者の名を刻んだ「薩摩藩士東征戦亡之碑」、自書の漢詩額や島津家の家紋入りの道具類などを担当者の解説を聞きながら見て回りました。四日市市鵜の森の竹内喜代美さんは「大変興味深く、大河ドラマ『西郷どん』がより一層楽しめそうです。京料理も堪能でき、参加して良かった」と話していました。

平成30年2月19日



① 東福寺三門前にて
② 伏見稻荷大社樓門前にて



平成30年度会費納入のお願い

平成30年度年会費（2,000円）が未納の方はご入金をお願いいたします。

ご入金は以下のいずれかでお願いいたします。

- ① 郵便振込または銀行振込（同封の振込用紙*をご利用いただくか、下記までお振込みください。）
- ② イベント時等に事務局へ直接納付

【振込先】 百五銀行本店営業部 普通 121470 株式会社 伊勢新聞社
金額(年会費) ¥2,000-

*お手数ですが振込手数料は会員様でご負担いただきますようお願い申し上げます。

※入金確認ができていない方には、振込用紙を同封させていただきます。ご確認のうえ、ご入金をお願いいたします。

なお、納金済みで振込用紙が入っている方は事務局までご一報ください。ご連絡行き違いの際はご容赦ください。



伊勢新聞パール俱楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町34番6号

株式会社伊勢新聞社販売部内

TEL:059 (224) 4400 FAX:059 (226) 3554

HP:<http://www.isenp.co.jp/plc/>

表紙写真=伊勢新聞創刊140周年記念講演会・祝賀会にて